

(様式1)

自 己 評 価 表

愛媛県立新居浜商業高等学校

学校番号(8)

教育方針	人間力を高め、いきいきと活動し、将来をたくましく <u>生き抜く</u> 生徒の育成 ～ <u>地域に貢献し、地域に愛され、地域とともに歩む</u> 新商～	重点目標	<u>1 基礎学力の定着を図り、時代の変化に対応したビジネス教育を推進する。</u> <u>2 基本的な生活習慣の確立を行い、気持ちの良い挨拶のできる生徒を育成する。</u> <u>3 地域と一体となった教育活動を推進し、ICT機器の効果的な活用に努める。</u> <u>4 キャリア教育の充実させ、望ましい勤労観・職業観を身に付けた生徒を育成する。</u> <u>5 ビジネスキルと倫理観を身に付け、地域や経済社会の発展に貢献できる生徒を育成する。</u>
------	---	------	---

領域	評価項目	具体的目標	評価	目標の達成状況	次年度の改善方策
学習指導	教科指導の充実	教材、教具の活用や個別指導、習熟度別学習、ティーム・ティーチングなど基礎・基本の定着を目指し、常に生徒が興味・関心を持って授業に参加できるよう工夫する。	B	各教科でティーム・ティーチングや少人数講座等の授業形態の見直しや改善が見られる。生徒の学習意欲向上や、学習習慣の定着につながる指導に課題がある。	少人数指導を通して生徒個々に目標を持たせるとともに、学習意欲を向上させ地道に学習に励む習慣を身に付けさせたい。
		適正な評価ができるよう教科会等における教員相互間の連携を密にし、意識統一を図る。	B	週に1度は教科会を実施し、生徒の成長や評価について細やかに情報共有ができています。	複数の教員が授業や評価に関わり、指導力の向上を図りたい。
		実社会を見据え、時間厳守・身だしなみ・言葉遣いの指導など、生活指導を行うことにより、職業人に求められる心構えや態度を身に付けさせる。皆勤者130名以上、出席率98%以上を目指す。 皆勤者 A:130名以上 B:129～120名 C:119～110名 D:109～100名 E:100名未満 出席率 A:98%以上 B:97～96% C:95～93% D:92～90% E:90%未満	C	皆勤者数99名、出席率95.8%（令和4年12月現在）と目標を達成することはできなかった。しかしながら、遅刻・欠席をした生徒に対しては適切で継続的な指導ができており、改善も見られる。	家庭との連携を密にして、休まず皆勤を目指すという意識を持たせたい。個別の指導を継続させるとともに、学校全体で皆勤を目指すという意識を持たせられるよう呼びかけたい。
		生徒の様子や変化に気を配りながら授業を行い、早期対応を心掛ける。また、お互いを支えあい高めあう学習集団作りに努める。	B	多様な学力の生徒が増え、学習意欲が低い生徒も在籍している。少人数講座では互いに教え合う場面も見られ、自主的に学習する生徒も見られる。	成功体験を通し学習意欲を高めながら、生徒通しでも分からないことを質問しあえる環境を築かせたい。
生徒指導	規範意識を高める指導	<u>端正な身だしなみを心がける指導を徹底する。</u> <u>身だしなみ指導合格率</u> A:98%以上 B:98～97% C:97～95% D:95～90% E:90%未満	A	若干の生徒が再指導を要したが、ほぼ100%の生徒が身だしなみ指導に合格し学校生活を送っている。学校評価においての身だしなみに関する項目では、保護者が81.0%、生徒が86.3%という高い評価をしている。	一方で教職員の満足度が低く、55.6%という数字に留まっている。先生方の理想が高いものと感謝しているが、より一層の意思疎通が必要であると感じている。
		<u>スマートフォンやタブレット端末の使用も含め、情報モラルの高揚を目指す。</u> <u>情報モラルを逸脱した行動による特別指導の件数</u> A:0件 B:1件 C:2件 D:3件 E:4件以上	B	授業中にスマートフォンを使用していたということで、1件（3名）の生徒の特別指導を行った。昼休みを中心とした校内巡視時にスマートフォンを指導した事案が数件あるが、年々確実に件数が減少している。	生徒に隙を与えない授業の徹底と校内巡視及び生徒の観察を今後ともお願いしたい。
	交通安全指導の充実	<u>自転車交通マナー向上のための注意喚起に努めるとともに、市内一斉の登校指導や毎日の登下校指導を充実させる。</u> <u>自転車による加害及び被害事故</u> A:0件 B:3件以内 C:5件以内 D:7件以内 E:8件以上	C	入院を要した自動車との接触事故が1件、他に自動車・自転車・歩行者などとの接触事故が5件あった。生命を危ぶまれるような大きな事故には至らなかったが、登下校中の事故が後を絶たない。	交通安全指導・登下校指導に加えて、時間に余裕をもって行動できる生活習慣を身に付けさせ、心と時間にゆとりのある登下校を徹底させたい。
	個を見つめた指導と家庭との連携・協力の充実	問題を抱える生徒の早期発見と、早期対応を心掛けるために、担任、教科担任、部活動顧問などがそれぞれの立場で個別面談を行う。また、欠席が3日続いた生徒に対しては家庭訪問を行い家庭と連携した対応に努める。	A	コロナ渦において、欠席する生徒の数は激増しているが、その対応については保護者が82.3%、生徒が83.5%という満足度を示している。また、生徒の変化をいち早く発見するため、毎週の学年会を中心に情報交換が盛んである。	休むことを学校から命令されてきた世代である。やはり、簡単に欠席するのではなく、自己の体調把握の下、頑張れる生徒の育成に努める方策を考えたい。
教育相談	相談体制の充実	<u>担任、教科担任、部活動顧問等と教育相談担当、養護教諭、スクールライフアドバイザーが連携を取りながら、生徒の悩みや課題の早期解決に努める。</u>	C	生徒の悩みや課題の早期発見、解決のために学校生活アンケートの活用や、担任等と生徒の状況をこまめに共有し、対応にあたった。課題や悩みは尽きないが多くの生徒が安定した学校生活を送ることができた。	一部の生徒については、深刻な悩みや解決に時間が掛かる課題を抱えている。組織として状況を共有しながら、生徒や家庭に寄り添い、じっくりと対応していきたい。

領域	評価項目	具体的目標	評価	目標の達成状況	次年度の改善方策
教育相談	特別支援教育の充実	学習や生活上での困難さを持つ生徒に対して、学校全体で支援体制を確立し、通級による指導等、個に応じた適切な支援や指導を行うよう努める。 通級指導による単位修得率 A:100% B:99～80% C:79～60% D:59～40% E:40%未満	A	通級による指導が始まり5年が経過した。今年度は通級による指導受講者10名について、全員が単位取得の予定である。	通級による指導について、年度当初は14名の受講でスタートしたが、4名の転退学者が出ている。単位取得に向けて必要な支援な支援について、丁寧な実態把握を行い、指導計画を立てるようにしたい。
特別活動	部活動の充実	各部活動の入部状況を把握し、部活動加入率80%以上を目指す。部活動の活性化を図り、生徒の部活動充実度を高める。 部活動加入率 A:80%以上 B:79～75% C:74～70% D:69～65% E:65%未満	A	運動部・文化部を問わず、顧問の先生方の熱心な指導の影響もあり、加入率84.2%と目標値を達成することができた。	加入率は高く推移しているので、顧問の粘り強い指導を続けていくことが今後も大切だと考えている。
	生徒会活動の充実	学校行事、生徒会活動等を充実させ、生徒が中心となって運営できるよう、リーダーとなれる生徒の育成を目指す。	A	13名の生徒会役員が、リーダーとなって学校行事を運営している。今後もwithコロナの中で、生徒の学びと成長を推し進めていけるようにしていきたい。	現状を維持しつつ、リーダーの質を向上させられるよう、きめ細かい指導をしていきたい。
進路指導	進学指導の充実	進学希望者全員の進学を実現する。 (進学決定率100%) A:100% B:99～98% C:97～96% D:96～95% E:95%未満	B	進学希望者50名中49名の進路が決定している。 (進学決定率98%)	推薦入試に対応するため、早めに小論文や面接対策をする必要がある。
	就職指導の充実	就職希望者全員の就職を実現する。 (就職内定率100%) A:100% B:99～98% C:97～96% D:96～95% E:95%未満	A	学校斡旋を希望している就職希望者59名中57名の内定が決定している。(内定率96.6%)	就職試験で実施されるSPIなどの適性検査にも対応できるように、学力を身に付けさせる必要がある。
キャリア教育	体験学習の充実	地域に貢献し、地域に愛される活動を促す。 インターンシップを通して将来の進路選択に役立てる。	A	今後の新型コロナウイルス感染状況にもよるが、三年ぶりにインターンシップが開催できる予定である。	感染状況に左右されないような開催時期や開催方法の検討が必要である。
	資格取得指導の充実	各種検定試験による資格取得を身近な目標として捉え、努力させる。さらに高度な資格取得に向け、挑戦する意欲を育てる。 1年生 検定3級2種目以上(目標70%以上) A:70%以上 B:69～60% C:59～50% D:49～40% E:40%未満 2年生 検定2級2種目以上(目標50%以上) A:50%以上 B:49～45% C:44～40% D:39～30% E:30%未満 3年生 検定1級取得者(目標50%以上) A:50%以上 B:49～45% C:44～40% D:39～30% E:30%未満 3年生 検定1級3種目以上(目標15名以上) A:15名以上 B:14～12名 C:11～9名 D:8～6名 E:6名未満	B	全国商業高等学校協会主催の検定試験(全9種目)において、1年生は111名中89名が3級2種目以上、2年生は98名中46名が2級2種目以上、3年生は115名中87名が1級取得を達成した。 1年生 検定3級2種目以上(結果80.2%)→A 2年生 検定2級2種目以上(結果46.5%)→B 3年生 検定1級取得者(結果75.7%)→A 3年生 検定1級3種目以上(結果21名)→A 2年生の目標の「B」になった結果は、昨年度と同じである。 1級3種目以上は昨年度より2名増加した。	基礎・基本の問題が出題される3級に対して、上位級では応用力が必要になるため、より専門的な知識・技術が求められる。生徒の理解度の差が大きいため、習熟度に応じたきめ細かな指導体制を構築し、上位級取得を目指していきたい。
業務改善	適切な勤務時間	日頃から定時退勤を推奨するとともに、超過勤務時間の削減を目指し設定した『新商プレミアムフライデー』の定着を図り、年次有給休暇を取得しやすい職場の雰囲気醸成する。	A	定期考査期間中や長期休業中など年次有給休暇の取得が増加した。テレワークの利用者も増加している。	超過勤務時間の削減に向けて、これまで以上に働き方改革を呼びかけていきたい。
	職場環境の整備	定期的に衛生委員会を開催することで、職場環境改善に関する教職員の要望の収集に努め、早期の対応を図る。また、学校医による定期的な健康相談及び管理職による面談、福利厚生制度についての周知・奨励を行うことで、教職員のメンタルヘルスの向上を図る。	B	教職員のストレス軽減を図り、心の健康度を高めるため、初任者やフォローアップ対象者を中心にメンタルヘルス相談の案内や勧奨を行い、相談をしやすい職場づくりに努めた。	教職員が健康で安心して働けるよう、風通しの良い職場の環境づくりに向けて、声掛けに努めていきたい。

※ 評価は5段階（A：十分な成果があった B：かなりの成果があった C：一応の成果があった D：あまり成果がなかった E：成果がなかった）とする。